

# “つながり”“絆”で支え合う 地域づくりを考える

島根県では、住みやすい地域をつくるため、地域を良くしたり、困っている人を支えたりする活動を「県民いきいき活動」と呼んで推進しています。

また、多様化する地域の課題を解決するためには、「県民やNPO、企業、行政等多様な主体が協働して取り組む」必要があります。県内各地でこの多様な主体による協働にチャレンジしました。



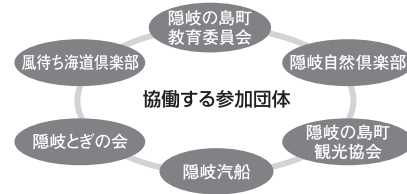
ここに紹介する主なチャレンジ事例をもとに、地域のことをみんなで考えてみましょう！

## チャレンジ 1

### 隠岐ジオパーク戦略会議（隠岐の島町）

【課題】観光客が減少傾向  
【取組と成果】

- ・世界ジオパーク認定を目指して組織立ち上げ
- ・ソーシャルメディアを活用して島の魅力を積極的にPR
- ・ツアープログラム作り、有償ガイドの育成など、受入体制を整備
- ・組織の持続的な活動の実現のため、今後も継続して団体の自主財源確保策に力を注ぐ（ソーシャルアプリ開発販売、ガイドや講師派遣による収入確保）

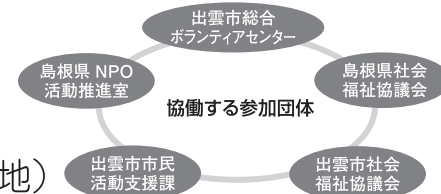


## チャレンジ 3

### しまね東日本大震災被災者支援推進協議会（出雲市）

【課題】東日本大震災被災者の支援（県内、被災地）  
【取組と成果】

- ・震災直後から迅速な支援活動を開始
- ・被災地訪問（2年間で140人）、避難者への生活支援
- ・民間のフットワーク・柔軟性・ネットワーク力、学校や公民館の地域力、行政の情報力など、それぞれの強みを活かした事業推進体制の構築
- ・今後は、地域でのボランティア育成、防災啓発活動を継続



## チャレンジ 2

### 黒沢地区まちづくり推進委員会（浜田市三隅町）

【課題】人口減少、高齢化による地域活力低下（里山荒廃、生きがいづくり等）  
【取組と成果】

- ・空き店舗を利用した「朝採れ野菜市」の開設は、商いの場としてだけでなく、お茶を飲みながら話をする憩いの場となる
- ・水稻作付けによる荒廃農地解消
- ・和紙原料（トロロアオイ、みつまた等）の試験栽培による収入源の発掘



## チャレンジ 4

### ごようきき三河屋プロジェクト協議会（松江市）

【課題】買い物弱者対策  
【取組と成果】

- ・各参加団体が協力して事業実施体制を構築（共同受付コールセンター、共同仕入れ、共同配達、見守り体制等）
- ・事業PRにおける行政、民生児童委員の協力の重要性
- ・買い物弱者の視線でサービス改善
- ・今後も顔の見える関係を大切に事業展開

